

医療福祉支援センター

1 構 成 員

	平成 25 年 3 月 31 日現在
教授	0 人
准教授	0 人
講師（うち病院籍）	0 人 (0 人)
助教（うち病院籍）	0 人 (0 人)
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	1 人
医員	0 人
研修医	0 人
特任研究員	0 人
大学院学生（うち他講座から）	0 人 (0 人)
研究生	0 人
外国人客員研究員	0 人
技術職員（教務職員を含む）	0 人
その他（技術補佐員等）	0 人
合計	1 人

2 教員の異動状況

小林 利彦（特任教授）（2010 年 8 月～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 24 年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	1 編 (1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	15 編
そのインパクトファクターの合計	0.00
(3) 総説数（うち邦文のもの）	1 編 (1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編 (0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編 (0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 小林利彦, 木村通男: 病院内医療情報のフル活用を目指して-院内Rawデータの有効活用-, 医療情報学, 32, 27-34, 2012.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 小林利彦: 地域の多施設 DPC データを集約化して行うパス分析 -医療圏レベルでの乳癌手術症例に関して-, 第 16 回日本医療情報学会春季学術大会 (シンポジウム 2012i 函館) プログラム・抄録集, 149-150, 2012.
2. 小林利彦, 康永秀生, 石川光一, 藤森研司, 高橋泰: 医療関連情報を集約化し地域医療にいかにかに生かすか? -現場での意思決定に向けて- (大会企画), 第 16 回日本医療情報学会春季学術大会 (シンポジウム 2012i 函館) プログラム・抄録集, 61-63, 2012.
3. 小林利彦: 国立大学病院における「医師事務作業補助者」養成プログラムの試行, 日本医療秘書実務学会第 3 回全国大会 プログラム・要旨集, 52-55, 2012
4. 小林利彦: DPC データを利用したクリティカルパス分析 -腹腔鏡下胆嚢摘出術-, 第 32 回医療情報学連合大会論文集, 756-757, 2012.
5. 小林利彦, 鈴木一郎, 池上俊彦, 小竹美千穂, 長野宏一朗, 石井征輝 他: 国立大学医療連携部門の現状と今後 ~「日本医療連携研究会 - 国立大学部門」の活動から~ (6) 当該部門の学問体系化に向けた課題, 平成 24 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議抄録集, 136-137, 2013.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. 野口大輔, 小林利彦: 国立大学を戦略の類似性でグループ化する試み, 平成 24 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議抄録集, 346-347, 2013.

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 森口はるな, 長野宏一朗, 石井征輝, 鈴木一郎, 池上俊彦, 小林利彦 他: 国立大学医療連携部門の現状と今後 ~「日本医療連携研究会 - 国立大学部門」の活動から~ (1) 国立大学医療連携部門の軌跡と展望, 平成 24 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議抄録, 123-124, 2013.
2. 池上俊彦, 小竹美千穂, 鈴木一郎, 長野宏一朗, 石井征輝, 小林利彦 他: 国立大学医療連携部門の現状と今後 ~「日本医療連携研究会 - 国立大学部門」の活動から~ (2) それぞれの施設の基本情報から探る, 平成 24 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議抄録集, 125-127, 2013.
3. 石井理恵, 鈴木一郎, 池上俊彦, 小竹美千穂, 長野宏一朗, 小林利彦 他: 国立大学医療連携部門の現状と今後 ~「日本医療連携研究会 - 国立大学部門」の活動から~ (3) それぞれの施設の基本情報から探る, 平成 24 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議抄録集, 128-129, 2013.
4. 鈴木一郎, 池上俊彦, 小竹美千穂, 長野宏一朗, 石井征輝, 小林利彦 他: 国立大学医療連携部門の現状と今後 ~「日本医療連携研究会 - 国立大学部門」の活動から~ (4) 業務数値から医療連携部門の現状と今後の課題を探る, 平成 24 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議抄録集, 130-132, 2013.

5. 櫃本真事, 橋本一晃, 小手川雄一, 青山百合枝, 田淵典子, 小林利彦 他: 国立大学医療連携部門の現状と今後 ～「日本医療連携研究会 - 国立大学部門」の活動から～(5) 沿革・位置づけの観点から, 平成 24 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議抄録集, 133-135, 2013.
6. 川崎浩二, 宮地登代子, 向田圭介, 鈴木一郎, 池上俊彦, 小林利彦 他: 国立大学医療連携部門の現状と今後 ～「日本医療連携研究会 - 国立大学部門」の活動から～(7) H23 年度前方連携の現状, 平成 24 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議抄録集, 138-140, 2013.
7. 川崎浩二, 宮地登代子, 向田圭介, 鈴木一郎, 池上俊彦, 小林利彦 他: 国立大学医療連携部門の現状と今後 ～「日本医療連携研究会 - 国立大学部門」の活動から～(8) H23 年度後方連携の現状, 平成 24 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議抄録集, 141-143, 2013.
8. 石井征輝, 長野宏一朗, 森口はるな, 鈴木一郎, 池上俊彦, 小林利彦 他: 国立大学医療連携部門の現状と今後 ～「日本医療連携研究会 - 国立大学部門」の活動から～(9) ソーシャル・ワーク損害賠償責任保険の開発, 平成 24 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議抄録集, 144-145, 2013.
9. 中島直樹, 吉良潤一, 鈴木雄介, 内藤剛, 鈴木一郎, 小林利彦 他: 国立大学医療連携部門の現状と今後 ～「日本医療連携研究会 - 国立大学部門」の活動から～(10) 国際医療連携への取り組み, 平成 24 年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議抄録集, 146-148, 2013.

(2-2) レター

(3) 総 説

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
 1. 小林利彦: チーム医療における人材マネジメント法. 医療スタッフの質、量の担保が前提 事務職のポジション確立がカギ, 最新医療経営フェーズ 3 339, 24, 2012.
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

(4) 著 書

(5) 症例報告

4 特許等の出願状況

	平成 24 年度
特許取得数 (出願中含む)	0 件

5 医学研究費取得状況

	平成 24 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	1 件	(140 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	1 件	(0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	1 件	(48 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	1 件	(469 万円)

(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0 件	(0 万円)
--------------------	-----	--------

(1) 文部科学省科学研究費

基盤研究(C)、病院の地域連携・退院調整部門における評価指標確立に向けた研究、平成 23 - 25 年、平成 24 年度分：140 万円

(2) 厚生労働科学研究費

医療情報システムのデータを利用した臨床指標に関する研究（H23-医療-指定-015）
病院の機能や疾病の種類に応じた臨床指標項目の開発と分析共同研究者
平成 24 年度分：0 万円（代表者 浜松医科大学・木村通男）

(3) 他政府機関による研究助成

ADL 等介護必要度情報の標準化と簡易 IT デバイスの利活用法の確立、
科学技術振興機構 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）
フイービリティスタディ【FS】ステージ探索タイプ。平 24 年度分、代表者、48 万円

(4) 財団助成金

(5) 受託研究または共同研究

二次医療圏の診療情報の集約化とデータベース化事業のモデル構築、
中東遠地域医療再生支援センター事業、平成 23 - 25 年度、平成 24 年度分：469 万円

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表，総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	2 件
(3) 学会座長回数	0 件	1 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	1 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

(1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表

口頭発表

ポスター発表

(2) 国内学会の開催・参加

- 1) 主催した学会名
- 2) 学会における特別講演・招待講演

3) シンポジウム発表

1. 小林利彦：医師と事務職員の視点の違い-診療情報の二次活用において. 第12回日本糖尿病情報学会年次学術集会. Communication Workshop CW-3 多職種協働を支える事務職. 2012.7. 千葉.
2. 小林利彦：国立大学医療連携部門の現状と今後 ～「日本医療連携研究会-国立大学部門」の活動から～(6) 当該部門の学問体系化に向けた課題. 平成24年度大学病院情報マネジメント部門連絡会. 2013.2. 新潟.

4) 座長をした学会名

1. 第16回日本医療情報学会春季学術大会. 医療関連情報を集約化し地域医療にいかにかすか?現場での意思決定に向けて(大会企画). 2012.6. 函館.

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

小林利彦 日本医療情報学会 評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数(レフリー数は除く)	0件	0件

- (1) 国内の英文雑誌等の編集
- (2) 外国の学術雑誌の編集
- (3) 国内外の英文雑誌のレフリー

9 共同研究の実施状況

	平成24年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

- (1) 国際共同研究
- (2) 国内共同研究
- (3) 学内共同研究

10 産学共同研究

	平成24年度
産学共同研究	0件

11 受賞

- (1) 国際的な授賞
- (2) 外国からの授与
- (3) 国内での授賞

- 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要
- 13 この期間中の特筆すべき業績, 新技術の開発
- 14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性
- 15 新聞, 雑誌等による報道